

所 属 共和水産 株式会社
氏 名 まつもと りゅういち
松本 龍一 (73歳)
船 名 だいにじゅうはちこうようまる
第二十八光洋丸 135トン
漁業種類 大中型まき網



～家族を養うには漁師になって稼ぐんだ！～

米子市出身の松本さん。境総合技術高校（海洋科）の2年生の頃、当時付き合っていた彼女と将来の人生設計を語り合い、「男が稼いで家族を養わないといけない」と思い、漁師を志した。

高校卒業と同時に共和水産に入社した。大中型まき網漁船の網船に乗り組み、現在は甲板員をしている。松本さんが務めるのは、網船のワイヤーを締める重要なポジション。2人でその作業を担当している。入社して6年目で、まだまだ覚えることも多い。将来の目標は？と問いかけると「まずは、今の仕事をしっかりとマスターすること、その後徐々にステップアップしたい」とのこと。現在の若者は意外と堅実だ。

家族は、奥さんと子供が二人。仕事がオフの時は、もっぱら家族で旅行を楽しんでいるそうだ。

～仕事の楽しさと苦しさ～

漁師になって良かったと思えることは、全国津々浦々の港を巡ることが出来ること。「陸の仕事だったら、こんな経験できないでしょ！」と語る。つらいのは、冬の作業。暑いのは平気だが寒いのは手がかじかんで辛いそうだ。「でもまた春はやって来るんですよ」とみせる笑顔が輝いていた。

(文責：尾田 昌紀)